

■視点1-②

《中期目標》 学ぶ意欲をもち、基礎的・基本的知識及び技能を確実に身に付けた児童の育成

《成果指標》 令和6年度の全国学力学習状況調査の標準化得点：国語・算数 102以上

《短期目標》 自分の考えをもち、主体的に表現できる児童の育成

《短期指標》 令和4年度の全国学力学習状況調査の標準化得点：国語95 算数100 以上

(令和4年度の福岡県学力調査【中1】において県標準化得点：国語 100、算数 102 以上)

■視点5

【家庭・関係機関との連携】

〈取組(指標)〉

③家庭学習強化週間の実施  
(毎学期)(学級通信等で家庭に協力を依頼・連携)

〈成果(指標)〉

◆「10分×学年+10分」以上の学年目標家庭学習時間に取り組む児童の割合(85%以上)

■視点2

【授業づくり】

〔主体的な学習を目指す授業改善〕

〈取組(指標)〉

②1単位時間の中に、「学びの良さを自覚する」振り返りを取り入れた授業を行う。

〈成果(指標)〉

◆授業アンケート「学習で学んだことや学びから自分が考えたことを、振り返りに書くことができたか」(「できた」80%)

〔書く力・話し合う力の育成〕

〈取組(指標)〉

②⑤1単位時間の中に、目的を明確にした「書く活動」「話し合う活動」を設定する。(毎時間実施)

〈成果(指標)〉

◆授業アンケート「自分の考えを書く活動を通して、考えが深まったり、整理したりすることができたか」(「できた」80%)

◆授業アンケート「学級の友達との間で話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができたか」(「できた」80%)

■視点4

【教員の意識・指導力の向上】

〈取組(指標)〉

- ④全国学力学習状況調査、福岡県学力実態調査、福岡県チャレンジテストに係る職員研修を実施する。(年間3回)
- ⑤表現する力の育成をねらいとした授業を全学級で公開する。(全員、年1回以上)
- ⑥小中合同の研修会の実施(年3回：1回は授業公開)

〈成果(指標)〉

◆全学級の研究授業の実施と指導主事を招聘し、指導助言を受ける。(各学年1回以上)

■視点3

【学力基盤づくり】

〈取組(指標)〉

- ①重点単元における複数体制での指導
- ①「習熟・活用の力」の向上を目指したチャレンジタイム(週1時間)を実施する。(1・2年生はM1M含「全国学力学習状況調査」「県学力検査」「フォローアップシート」「基礎基本を含む活用力を育成する教材集」「小4チャレンジ」)
- ①年間40冊以上の読書に取り組む。(毎日10分間の朝読書・週末家庭読書)

〈成果(指標)〉

- ◆チャレンジタイム(週1時間)実施
- ◆算数単元テスト(期待値以上 85%)
- ◆授業アンケート「本を読むのは好きですか」(「好き」80%)

■視点1-①

【全国学力・学習状況調査結果及び児童生徒による授業評価から見た課題】					【要因(授業づくりやその他学校の学力向上の取組)】	
標準化 得点	国語		算数		・目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことが課題 ・学力中低位層の無回答率が高い	①集団内の大きな学力差 ②自分の考えやその理由をまとめる「書く力」が不十分 ③家庭学習が習慣化していない(家庭学習時間達成率80%) ④本校実態の共通理解の必要性 ⑤自分の考えを書かせ表現させる授業づくりの研修の必要性 ⑥中学校区での取組に対する共通理解の必要性
	98	49.5	99	56.4		
質問紙 調査	・難しいことでも失敗を恐れないで挑戦しているか。(全国比-11.3) ・解答時間は十分でしたか(全国比-31.3)					